



## 公開ヒアリング実施状況

### 2-3 コミュニティバス運行支援など地域公共交通環境の充実（都市交通課）

区分	内容
基本方針	1 市民等の公益的な地域活動の推進
重点推進項目	② 地域団体等との協働事業の推進 ⑥ 行政の協働推進体制の強化と効果的な支援策の推進
取組項目	1. 地域の公共交通環境充実のため、コミュニティバス運行に向けた地域の主体的な体制づくりや取組を支援 2. コミュニティバス運行に対する効果的な支援 (効果目標等：取組地区数 現状（H22） 3地区 目標（H27） 5地区)
各委員のコメント	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 地域の住民のため必要だと思われる。民間バス路線と競合するところは改善する必要がある。</li><li>○ コミュニティバスは住民による地域づくりに役立っている。地域の実情に合わせたコミュニティバス運用に対する市の柔軟な姿勢も評価できる。</li><li>○ 税金を投入する以上は公共関与のあり方を考えるべきである。収支だけで考えるとすぐ廃止となってしまふ。市もノーカーデーを実施するなど、民間や市民の力による地域の活性化や復元を目的とすべきである。</li><li>○ 行政と地域の連携によるPRが必要である。補助金の支出を抑えた場合のインセンティブの付与や定期的な検証なども検討すべきと考える。</li></ul>
市民意見	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 南部地域ではコミュニティバスの運行に向けた推進委員会を立ち上げたところである。高齢化が進み、80代で自家用車を運転していたり、移動手段が無い人も多いので是非支援をお願いしたい。</li><li>○ アンケートでは60%以上がコミュニティバスを欲しいというが、実際は利用していない。ただ、地域の中で安心して暮らしたいという気持ちが強く、コミュニティバスは必要である。利用者は増加しており、長い目で見てほしい。</li></ul>